

次回の特別展

Next Exhibition

日越外交関係樹立40周年記念
福岡県・ハノイ市友好提携5周年記念

大ベトナム展

2013年4月16日(火)～6月9日(日)

日本初公開の150点を超える名品がベトナムからやってきます。日本国内の関連作品約50点も加えて開催する大展覧会です。

日本とベトナムの交流史には、さまざまな局面がみられます。奈良時代には、遣唐使に従って唐にわたった阿倍仲麻呂が安南都護に任じられました。17世紀初頭には、日本人はベトナムへ渡航して交易し、ホイアンには日本人町もつくられました。ベトナムの王女様が長崎の商人荒木宗太郎に嫁いで来日したのもこの頃です。

知られざるベトナムの魅力や日本との交流秘話が満載、驚きの連続です。きっと、心に残る展覧会になることでしょう。



金冊
ベトナム 阮朝・嘉隆2(1803)年
ベトナム国立歴史博物館蔵

- 開館時間
9:30～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日
月曜日 ※1月14日(月・祝)、2月11日(月・祝)は開館
※1月15日(火)、2月12日(火)は休館
- 文化交流展観覧料(特別展は別料金)
ー 一般 …………… 420円(210円) 大学生 …………… 130円(70円)
- 特別展「ボストン美術館 日本美術の至宝」観覧料
ー 一般……………1,500円(1,300円) 高校生・大学生…1,000円(800円)
小学生・中学生 …… 600円(400円)

※()内は20名以上の団体料金。※障がい者とその介護者1名は無料。展示室入口にて障害者手帳をご提示ください。
※高校生及び18歳未満、70歳以上の方は、文化交流展は無料。文化交流展示室入口にて年齢の分かるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。※特別展の観覧料で、文化交流展(平常展)もご覧いただけます。※満65歳以上のの方は、特別展については()内料金でご入場いただけます。チケット購入の際に年齢の分かるもの(健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。※キャンパスメンバーズの方は文化交流展は無料。特別展については()内料金でご入場いただけます。チケット購入の際に学生証等をご提示ください。
*特別展「ボストン美術館 日本美術の至宝」の開催期間は1/1(火・祝)～3/17(日)です。



九州国立博物館

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2
ご案内 NTT/ローダイヤル

050-5542-8600

※オペレーターが対応します。通話料が発生します。

<http://www.kyuhaku.jp>

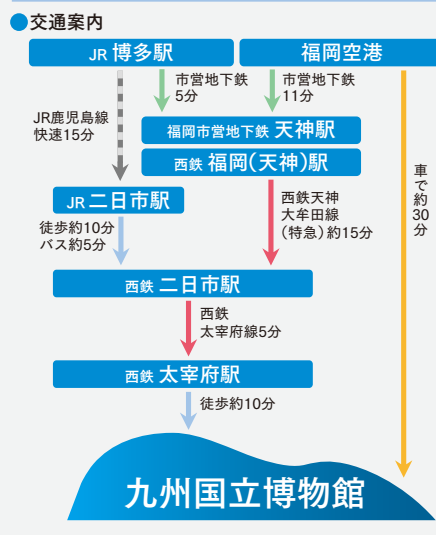


駐車場の空き情報が
ご覧いただけます

九州国立博物館の駐車場の空き状況が分かる便利なシステム。当館のホームページからご確認ください。車でお越しの場合、ぜひご利用ください。
<http://www.dazaifucity-parking.com/kyuhaku/>



◀携帯電話用ページはこちら



九州国立博物館 季刊情報誌
Kyushu National Museum Press アジアージュ

vol.27

平成25年1月1日発行 発行:九州国立博物館

本誌の全部または一部を無断で複製(コピー)することは禁じられています。

九州国立博物館 季刊情報誌
Asiaage
KYUSHU NATIONAL MUSEUM PRESS アジアージュ

vol.27

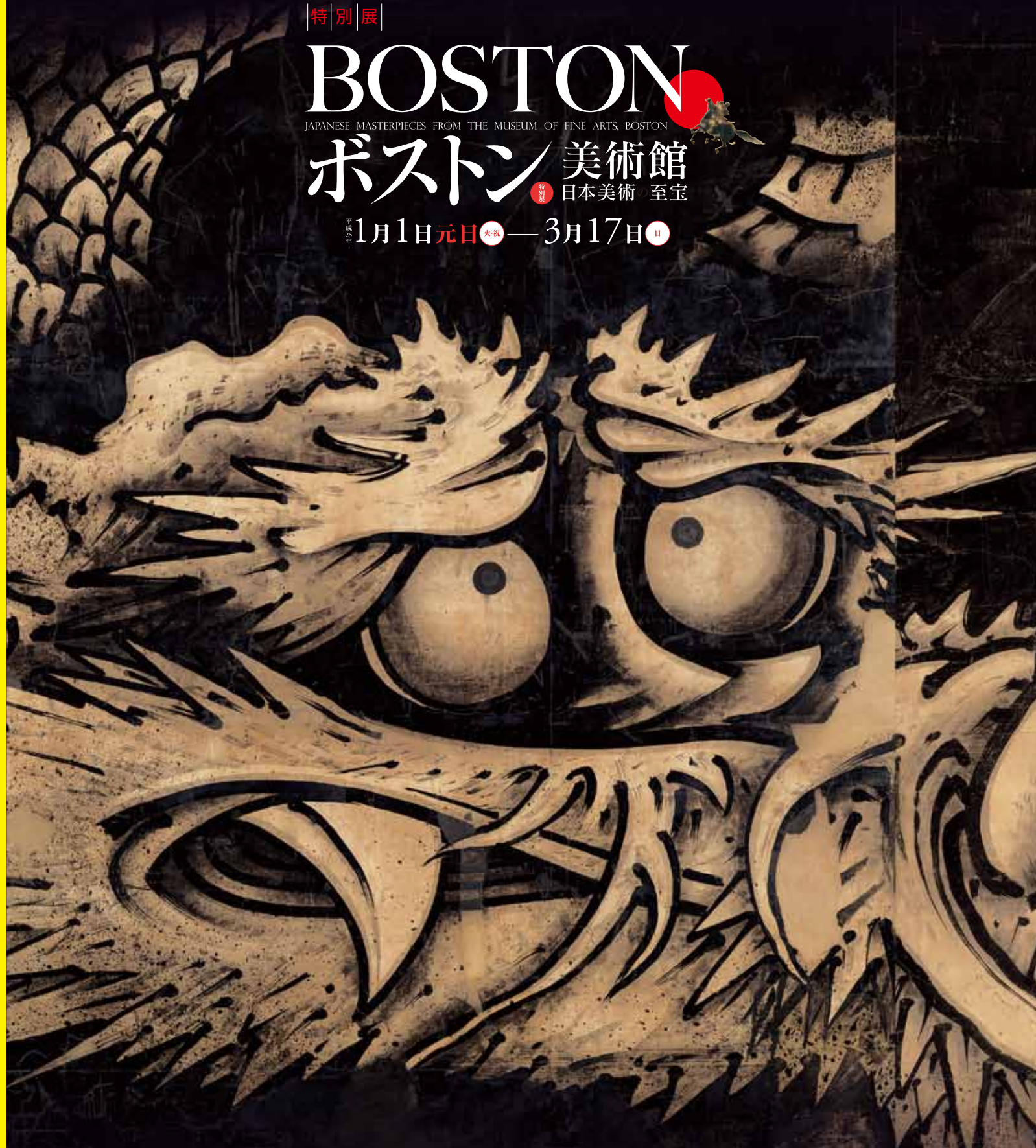
特別展

BOSTON

JAPANESE MASTERPIECES FROM THE MUSEUM OF FINE ARTS, BOSTON

ボストン美術館
日本美術 至宝

1月1日(元日・祝) — 3月17日(日)



特別展インタビュー

探求人に聞く

秋田県立近代美術館 館長

こうのもと あき

河野元昭さん

1943年東京都生まれ。秋田県立近代美術館館長、東京大学名誉教授。日本近世絵画史の第一人者で著書も多数。岡倉天心が中心となって創刊した美術雑誌『国華』の編集委員も務めている。

九州初上陸となる46件 “まぼろしの国宝”を含む、日本美術の粋

アメリカで最も歴史ある美術館の一つで、“東洋美術の殿堂”とも称されるボストン美術館。収蔵作品は45万点以上に及び、中でも日本美術コレクションは、欧米で質量ともに最高を誇るものです。その中から仏画や絵巻、襖絵などを公開する特別展「ボストン美術館 日本美術の至宝」。同美術館に多くの日本美術が収蔵された経緯や、今回“里帰り”する作品について、日本近代美術史の第一人者で秋田県立近代美術館館長の河野元昭さんに聞きました。

(聞き手／九州国立博物館企画課研究員・森實久美子)

●特別展

ボストン美術館

日本美術の至宝

平成29年 1月1日(元日) 火曜 — 3月17日(日)

コレクションの基礎を築いた フェノロサ、ビゲロー、天心

ボストンに多くの日本美術が渡ったのは、欧米で日本が注目された明治期のこと。19世紀半ばのパリ万国博覧会を契機に、フランスを中心にヨーロッパで広まったジャポニズム(日本趣味)がアメリカにも及んでいました。「とりわけ日本美術に対する関心が高まっていました。それまでのヨーロッパ絵画は陰影法などの表現が主流で、日本の浮世絵や水墨画を見て驚いたといいます」と河野さん。加えて、日本では廃仏毀釈運動が起こり、各地の仏像や仏画などが打ち捨てられたり、二束三文で売られるという事態も。「仏像や仏画はもとより、お寺の襖絵や屏風絵は生活の一部だったんです。そのため、当時の日本人にとっては、あまり価値のあるものではなかったんですね」

そのころアメリカ・ボストンから2人が来日。まず1878年、日本で欧米の先進的な技術や思想を教える“お雇い外国人”としてアー

龍と虎が描かれているのは、それぞれ屏風の2面ぐらいで、あとは風や光を表現しているところが面白い。パターンやフォルム自体は中国の画僧・牧谿(もっけい)の作品をもとにしているけれど、もっと視覚的な表現に高めています。

虎が風を呼び、
龍が雨を降らせる！

りゅう こ すびょうぶ
龍虎図屏風
長谷川 等伯 筆
江戸時代
慶長11(1606)年

うんりゅうす そ がしやうはく
雲龍図 曾我蕭白筆
江戸時代 宝暦13(1763)年



き びだいじんにつとう え まき
吉備大臣入唐絵巻
平安時代(12世紀後半)

歌舞伎の
原点のような
面白さがある



の考えを強く持っていたんでしょね」

今回“里帰り”する美術品は46件。その中でも目玉となる曾我蕭白の「雲龍図」に河野さんが出会ったのは、1982年、ボストン美術館で開催された日本美術のシンポジウムに出席した時のことでした。「辻惟雄先生が出版された『奇想の系譜』という本の表紙に使われていたので、絵の存在は知っていたんだけど、その大きさにびっくりしました。

普通の画家はやらないよね、と思いましたね」と当時を振り返ります。尾形光琳の「松島図屏風」は、琳派の祖・俵屋宗達「松島図」(米・フリーア美術館蔵)に倣った作品。「呉服商・雁金屋さんの生まれだけに、すぐに着物の模様になるようなデザイン性の強さが光琳らしいですね」

意義深い九州での展覧会

九州に博物館の必要性を提言した岡倉天心。その天心ゆかりの九州国立博物館で、全て九州初公開となる、見応えたっぷりの展覧会。「天心も泉の下で喜んでいることでしょう。九州は日本文化の発祥の地ですよ。“日本文化は西から、九州から”といわれる九州で、日本文化の粋が見られることは大変意味のあることで、非常にうれしいこと。めったに見られない国宝級の作品が里帰りの展覧会は、今の日本を元気づけてくれると思います」



まつしま すびょうぶ おがたこうりん
松島図屏風 尾形光琳筆
江戸時代(18世紀前半)

新しさと
華やかさが
ある作品だね



デザイン性に優れていて、波の表現が秀逸。海外に渡った光琳の多くの作品の中でも三指に入るのでは。光琳の装飾的な美しさが極めてよく発揮されています。

ネスト・フェノロサが、82年には日本びいきの資産家スタージス・ビゲローが日本にやって来ました。そして、東京大学でフェノロサに学び、卒業後には東京美術学校(現在の東京藝術大学)を創設した岡倉天心。この3人によって、ボストン美術館の日本美術コレクションの基礎が築かれました。「フェノロサは、素晴らしい日本の美術品がたくさんあることに驚きます。彼は東京大学の教授として政治学や哲学を教えるかたわら、日本において古美術を調査・収集・保存するという大きな功績を残しました。日本美術の収集に情熱を傾けるビゲローの協力を得て、美術品の収集は進みます。そして、天心はフェノロサから多くのことを学び、後にフェノロサの後を継いで、ボストン美術館で東洋美術の調査などにも力を注いでいます」。彼らによって集められた美術品の中には、“まぼろしの国宝”といわれる名品の数々があります。

体系的に収集された名品の数々

この日本美術コレクションの調査が、日本人の研究者によって、1991年から実施されました。河野さんは第2次(1998～2001年)のプロジェクトメンバーで、毎年夏にボストンに赴いて作品を調査しています。「僕が担当したのは主に江戸狩野、円山・四条派、文人画です。フェノロサの考えだと思うけど、体系的に集められていました。西洋の人文科学では体系的に見ないと本質は分からないという基盤があり、天心もそ

その迫力には
度肝を抜かれるよ



雲龍図といえば、中国の宋代以来の伝統があって型を学んでいくんだけど、おそらく明時代の民画にインスピレーションを受けたのでは。こんな雲龍図は他にはない。迫力の中に、ユーモアがあって蕭白らしい。



フィンランドと 日本を結ぶ 珠玉の印籠、日本初公開

トピック展示

江戸の粋、印籠 フィンランド・クレスコレクション

■期間／2012年12月19日(水)～2013年3月10日(日)

■期間／文化交流展示室 関連第9室

フィンランドの著名な印籠コレクター、クレスご夫妻が所蔵する珠玉のコレクションから、選りすぐりの124点をご紹介します。

時絵や螺鈿など、高度な漆芸技法を尽くして表現された緻密な芸術美をご堪能ください。

なお今回は特別に、高円宮両殿下コレクションの中から貴重な根付14点もご出陳いただきます。



ぼ たんちようまき え いんろう
牡丹蝶時絵印籠
明治時代 19世紀後期



うりまき え いんろう
瓜時絵印籠
江戸時代 17世紀後期～18世紀前期



あしふねまき え ら でんいんろう
葦舟時絵螺鈿印籠
江戸時代 17～18世紀

日本美術を世界に広めた 細密工芸の美をご覧ください

印籠と根付は、日本人が海外に誇る美術工芸品のひとつです。

幕末から明治時代にかけて来日した外国人たちが故国へ持ち帰ったことに端を発して人気となり、大量の印籠・根付が海外へ輸出されました。小さく可愛らしいうえに、精緻な装飾がほどこされた印籠・根付は、海外の人々にとってはいかにもエキゾチックな存在であったでしょう。浮世絵と並んで、日本美術を海外に広める大きな役割を果たしました。

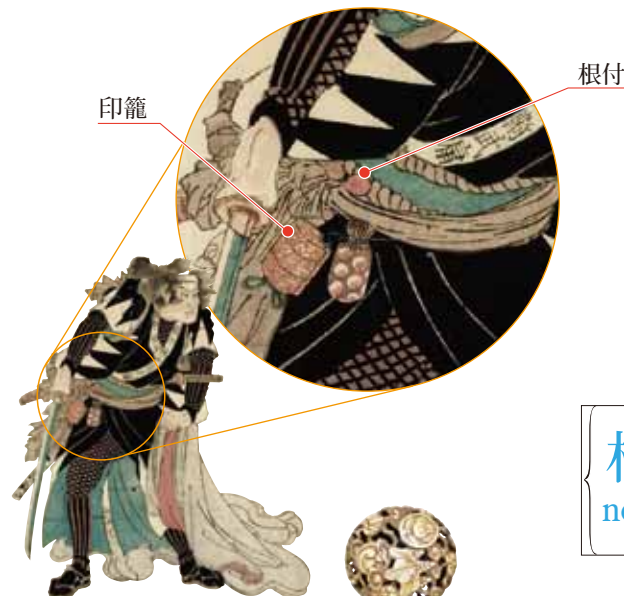
今回ご紹介するクレスコレクションは、研究者やコレクターの間では非常に有名なコレクションですが、日本で一般公開されるのは初めてとなります。

作り手の卓越した技巧とデザイン感覚には、本当に驚くばかり！洒脱で多彩な「江戸の粋」を、どうぞごゆっくりお楽しみください。

川畑 憲子 研究員

印籠 inro

薬などを入れるための容器（ピルケース）であり、男性用のアクセサリーだった印籠。江戸時代、武士は一般礼装である袴着用時には印籠を身につけることがしきたりとなっていました。形体は2～5段の小型容器で、丸形や小判形、角形などさまざま。根付とセットで使います。



印籠

根付

根付 netsuke

印籠や煙草入れなどを着物の帯に提げる際、落ちないようにその紐先に付ける留め具。そのデザインや題材は実に豊富で、印籠との取り合わせの楽しみも。



波図色絵瓢箪
波図色絵瓢箪

高円宮コレクション

故高円宮殿下と妃殿下がともにお集めになった根付コレクション。東京国立博物館では、高円宮コレクション室が開設されており、妃殿下がご寄贈になった根付が展示されています。



菊水図 谷斎



親子虎 峯江



いなほ やかんまき え いんろう
稲穂葉缶時絵印籠
明治時代 19世紀後半



世界を飛び回り調査するコレクター



ドイツ出身、フィンランド在住の印籠コレクターであり、研究者でもあるハインズ・クレス氏(1934～)とエルセ・クレス氏(1941～)。1974年に、フィンランドで会社を設立し、78年から会社経営の傍ら印籠の収集を始めました。これまでに、日本を含む世界各国の美術館で印籠を調査し、3万4千点以上のアーカイブと1万2千枚の写真を所有。印籠に関する著書4冊を出版し、約50本の論文を国際的な雑誌に発表しています。

関連イベント

【写真展】九産大発「フィンランド展」

フィンランドの美しい建築やデザイン、自然、文化を写真やパネルにてお楽しみください。

■開催期間／1月1日(火・元日)～14日(月・祝) 9:30～17:00

■場所／エントランス

大人のための根付ワークショップ

江戸時代のおしゃれアイテムであった根付をオープン粘土で制作するワークショップを開催。

■開催期間／1月12日(土) 10:00～12:00 ■場所／1階研修室

●参加無料、定員10名、要申込(先着順)／対象高校生以上

【講演会】こんなに面白い 印籠と根付

漆工研究の第一人者、小松大秀氏(秋田市立千秋美術館館長)が、印籠と根付の歴史、魅力などを分かりやすく解説します。

■開催期間／1月12日(土) 14:00～15:00 ■場所／1階研修室

●参加無料、定員50名、当日受付(先着順)

ヒンメリづくりワークショップ

光と幾何学が美しい立体モビールのようなヒンメリ。北欧の星形照明とともに吊り下げて、光と幾何学の美しい造形物をつくりあげます。

■開催期間／1月13日(日) ①10:00～、②14:00～(各2時間程度)

■場所／1階研修室

●参加無料、定員各回15名、当日受付(先着順)／対象小学生以上

フィンランド・テキスタイルアート ～季節が織りなす光と影

宝物殿展示室に、フィンランドを代表するテキスタイルデザイナーの作品が展示され、境内はマリメッコ社のプリントファブリックで彩られます。



開催期間／～3月10日(日) 9:00～16:30

場所／太宰府天満宮宝物殿第2・3展示室、境内

主催／太宰府天満宮

観覧料／一般 400円

高大生 200円

小中生 100円

※九州国立博物館(文化交流展示室)・太宰府天満宮宝物殿・菅公歴史館の3館共通券500円がおすすめです。



雪と炎の時を超えたコラボレーション

トピック展示

雪と火炎土器

期間／2013 年 1月22日(火)～3月17日(日)

場所／4F 基本展示室・関連第3室

日本有数の豪雪地帯として有名な新潟県で4500年以上前に花開いた炎のような形の縄文土器。波や渦巻き、円形の文様が複雑に組み合わさったダイナミックな原始の造形の美しさを見て楽しみ、精密3次元測定装置で作った模型に触れて学べる企画展です。はるかなる縄文の世界からやって来た約35点の作品を展示します。

関連イベント

シンポジウム

●2013年2月16日(土) ●ミュージアムホール

雪と火炎土器について様々な魅力を語りつくします。(詳細はホームページで)



土偶
4500年前・縄文時代
三条市教育委員会蔵
(三条市吉野屋遺跡)

火焰型土器
4500年前・縄文時代
津南町教育委員会蔵
(道尻手遺跡)

みみだらいわだ

耳盥・輪台

江戸時代・17世紀

新春特別公開

徳川美術館所蔵 国宝 初音の調度

期間／2013 年 1月1日(火・元日)～1月27日(日)

場所／4F 基本展示室

徳川美術館が所蔵する大名婚礼調度の最高峰、国宝「初音の調度」を今年も特別公開。寛永16(1639)年、徳川三代将軍・家光の長女・千代姫が、尾張徳川家二代・光友に嫁ぐ際に調

整されたもので、金銀を贅沢に使い、高度な蒔絵技術を尽くして制作されました。

5回目となる今回は、「みみだらいわだ耳盥・輪台」「りょうしぼこ料紙箱」「机」を紹介します。

ミュージアムトーク

2013 年 1月8日(火) 15:00～

徳川美術館所蔵「初音の調度」について

展示室

だより

いつ訪れても新鮮に。

頻繁に展示替え

阿修羅立像(再現文化財)から

観音菩薩立像に展示替え中

文化財に直接触れないように、ブラシで起こした風でほこりを払います

息を合わせて慎重にスライドさせて移動。台に載せるまで約30分

撤去は4人掛かりで。転倒防止のため、仏像の前後左右を囲んで動かします

設置完了!

展示担当者が全体のバランスを見ながら、向きや配置する場所を指示します

4Fの文化交流展示室ではより多くの文化財に親しんでもらおうと、年間約300回の展示替えを行っています。

今回は展示替えの様子を紹介します。作業を担当するのは学芸員と美術品取扱専門業者のスタッフ。「文化財の劣化している箇所に触れないように注意を払い、リフトや台車に載せて運びます。当館のエレベーターは、博物館や美術館向けに作られた揺れや衝撃のまったくない機種なんです」と展示課の楠井隆志主任研究員。展示する時は鑑賞する人の目線を考慮。例えば仏像の場合、大きな像は迫力と威厳を持たせるために高い台に載せて見上げるように展示し、小さな像は文化財の顔を約140cmの高さに合わせて調整。また、照明の角度と明るさを1体ずつ変え、表情が魅力的に映る工夫もしています。定期的に足を運んで展示替えにも注目してみてください。

Play

体験型展示室

日本の正月を楽しむ

縁起物と遊び道具あれこれ

～3月3日(日) 1F あじっば

あじっば奥のギャラリー「あじぎやら」が福を呼ぶ縁起物でいっばいに。資料整理部のボランティアが企画の立案から作品の選定、展示まで行った「新春初飾り」は、えとの置物や羽子板、まり、こま、力士の人形など初春を彩る工芸品を集めた展覧会。

ボランティアの高原恭子さんは「昔はお正月に、男の子はこま、女の子は羽子板で遊んでいました。そんな日本の文化を、現代の子どもたちに知ってもらいたいと思っ

飾って楽しむ鹿児島県の郷土玩具「金助まり」。松竹梅と鳳凰の刺しゅうが華やか

て企画しました。りりしい力士の顔、えとの人形の鮮やかな色使いにも注目してください」と同展の魅力について話します。本館が収蔵する1万1000点のコレクションの中から色合いの良さやかわいさで選んだ46点を紹介します。

福岡県出身の力士、福柳の人形。威風堂々とした立ち姿に愛嬌のある顔が魅力

あじぎやら次回予告

「はらのなかのはらっぱで」

九博の人気者「はらの虫」が描かれた「針聞書」を展示します。

3月5日(火)～5月26日(日)

どのページを開くかはあなたの一票次第!

はらのむしグランプリ2013 開催!

「針聞書」の展示に先立ち、あじぎやらで「はらの虫」の人気投票をおこないます。投票期間は1月1日(火・祝)～2月3日(日)まで。3月5日からの「はらのなかのはらっぱで」では、グランプリと準グランプリに輝いた「はらの虫」のページを開いて展示します。

あなたの会いたい「はらの虫」にぜひ一票を。

●展示期間
準グランプリ 3月5日(火)～4月14日(日)
グランプリ 4月16日(火)～5月26日(日)

人形のモデルは福岡県出身の沖ツ海。キュッと結んだ口や拳を握る姿が勇ましい

張り子のへびの置物。ユーモラスな顔立ちと、振り子の尻尾がチャームング

福岡市東区の宮崎宮の絵馬。巳年の「み」とへびを合わせたデザインが秀逸

2匹並んで「あうん」。縁起がいいとされる白へびの素材は土だが、ピロードに見える質感が不思議

Goods

ミュージアムショップ

伝統に現代アートを加えた焼き物

伝統工芸品の有田焼を斬新にアレンジしたインテリアブランド「amabro」の磁器。雲龍や藤花、蛸唐草など定番の伝統文様の上に、ドットや馬車を金色で大胆に絵付け。洋風のインテリアにもしっくりなじみそうです。

豆皿
各1,365円

そばちょこ
各3,675円

ドアノブマグネット
3個セット
2,100円

Eat

レストラン・グリーンハウス

営業時間／11:00～16:00(特別展期間中は～17:00)

個性的な味のトリオを丼に

アメリカと日本の料理をコラボさせた、特別展にちなんだメニュー。かやくご飯の上にマグロとエビのフリット、アボカドをたっぷりのせた丼で、サラダ感覚でいただけます。シャキシャキのレタスとカリッとしたナッツが食感のアクセント。野菜にケイジャンスパイスを思わせるコブドレッシング、フリットは甘辛い照り焼きソース、ご飯には風味豊かなしょうゆと絶妙な味のハーモニーが楽しめます。

鮪、海老、アボカドのカフェ丼
1,740円

5 | Asiage | vol.27 |

| Asiage | vol.27 | 6